

平成21年度大阪府社会起業家ファンド応募申請書

平成21年8月20日

大阪府知事 橋下 徹 様

所在地 (郵便番号 577-0818)

東大阪市小若江1-11-5

事業主体名

特定非営利活動法人 地域情報支援ネット

代表者氏名 幸田 栄長 印

下記のとおり、平成21年度大阪府社会起業家ファンド(スタート助成・ステップアップ助成)に応募申請します。

添付書類は以下のとおり(添付しているものに○をつけてください)。

<input type="checkbox"/>	企画書(別添とする場合、書式自由 A4サイズ8ページ以内)
<input type="checkbox"/>	定款、会則など事業主体の目的等がわかる資料
<input type="checkbox"/>	昨年度の事業報告書等
<input type="checkbox"/>	昨年度の収支計算書(もしくは損益計算書)・貸借対照表
<input type="checkbox"/>	その他(リーフレット、ニュースレター、報告書等)

[記入上の注意]

1. 申請書及び添付資料は、すべて片面・A4サイズとしてください。提出部数は7部(6部コピー(写し)で結構です。
2. 必要な情報はできるだけ様式中にご記入ください。各記入欄の大きさは変更しても構いません。
3. 添付資料として、次の資料を提出してください。(可能な範囲で結構です。)
 - ① 定款、会則など事業主体の目的等がわかる資料
 - ② 昨年度の事業報告書と収支計算書(もしくは損益計算書)・貸借対照表
 - ③ その他…グループのニュースレターや報告書など提出可能な資料など
4. 提出された申請書、添付資料は返却できませんので、あらかじめご了承ください。

1. 事業主体の概略

事業主体の名称（組織名） ／設立年月	特定非営利活動法人 地域情報支援ネット [設立年月] 2004年 3月
代表者氏名	幸田 栄長
主な活動エリア	大阪府東大阪市
グループの主な事業（活動）内容	保健、医療又は福祉の増進を図る活動 まちづくりの推進を図る活動 情報化社会の発展を図る活動 経済活動の活性化を図る活動
その他(HP アドレス等)	koda@aun.ac

2. 企画事業の概要

<p>[事業の名称] (事業を簡潔に示す名称を記入してください。)</p> <p>シニア支援隊による、サービスボランティア(注1)事業。</p>
<p>[事業のテーマ] (福祉分野における地域課題の解決に向けて設定したテーマを簡潔に記入してください。)</p> <p>高齢化社会が抱える地域の孤島化で起こる買い物難民、経済格差ゆえの小地域に見える教育問題、街中で増え続ける空き家によるスラム化等を、地域と、シニアの経験とノウハウで課題解消。</p>
<p>[事業の概要] (事業の概略を200字以内で記入してください。)</p> <p>地域のシニアが、地域の福祉課題に立ち向かうサービスボランティアとしての活動で、街中で増え続ける空き家を活用し、地域のシニアが、午前中は朝市として、地産の安全な野菜などの提供をし、地域高齢者の買い物を支援する。午後からは、教育経験者等で少人数の塾を開催、受験のための塾でない一般の学童が通える塾として、小地域における教育支援をする。</p>

(注1) サービスボランティアとは、役務であるサービスと奉仕であるボランティア複合した、有償ボランティアを言う

3. 企画事業の詳細

ア・事業の詳細(自由書式A4サイズで作成(8ページ以内)していただいても結構です。その場合には、下記の観点を盛り込んだ上で、当申請書には「添付資料参照」とご記入ください。)

<p>[事業の目的]</p> <p>添付資料参照</p> <p>「シニア支援隊」の地域支援。</p>
<p>[ニーズ分析](マーケットの規模、特色、状況)(ステップアップ助成で申請の場合は記載不要)</p> <p>添付資料参照</p> <p>買い物難民・金銭的教育格差の顕在化。</p>

[事業の具体的内容]

添付資料参照

- ①空き家の活用。
- ②タイムシェアリング(2部制)の活用。
- ③地域シニアの活動。
- ④コミュニケーションのある地産朝市と宅配制度(午前の部)。
- ⑤現代に対応した教育システム(午後の部)。

[事業実施の際の留意点] (考慮すべきリスクや競合相手などが想定される場合に記入してください)

添付資料参照

本事業の三要素と考慮すべき構築要件。

イ・事業内容のアピールポイント(下記の視点を踏まえて記入してください。)

○解決しようとする福祉分野における地域の課題と事業の目的及びその事業のもたらす効果 ○社会起業家ファンドを再度助成することによって更なる拡充もしくは発展できるか ○事業内容の先進性・独創性 ○事業の実現性・継続性・発展性 ○地域に根ざした事業展開 ○事業内容に関しての専門性 ○事業の主たる目的以外の地域における貢献性

アピール内容	スタート助成	ステップアップ助成
解決しようとする福祉分野における地域の課題と事業の目的及びその事業のもたらす効果	<p>商店街などの閑古化に伴う店舗の閉鎖や、大型店の撤退で買い物難民が増加。また、経済格差等で、塾に行けない金銭的教育格差が問題視されている。この課題を、サービスボランティアの地域シニアが、その地域の空店舗や空き家を活用し、買い物難民である高齢者の買い物支援、及び金銭的教育格差を是正し、学童の教育支援し、地域力をもたらし。</p>	
社会起業家ファンドを再度助成することによって更なる拡充もしくは発展できるか		

事業内容の先進性・独創性	各地で試みられている、買い物難民に対する宅配制度ではない、高齢者がふれあいと買い物と言う外出支援を重視した、支援方式が実現できる。朝市は、午前中のみ開催となるので、午後からは、教育経験者等のシニアが、一般学童に対して近代的教育システムを取り入れた小人数制の塾を開催する。タイムシェアリングの2部制による低コストのサービス提供が可能である。	
事業の実現性・継続性・発展性	地域のために何かしたいと考えている、シニアは多く潜在的、サービスボランティアと言った短期間就労は、実現性が高く継続性がある。 本事業の課題が近年顕在化傾向にあり、社会問題化になっていく事などから、このサービスを提供するための商品やシステム給先においても、販路の拡大になり、相乗効果から発展が期待できる。	
地域に根ざした事業展開	ふれあい朝市に関しては、地産野菜などの食料品や日用品の提供になるが、地産野菜以外の食料品や日用品は、地域内業者等との提携をし、委託販売的な面で支える。 教育経験者等が開催する塾に関しても、地域的な教育レベルは、地域の中でしか判り得ないことが多く、まさに、地域に根ざす事業である。	
事業内容に関する専門性	朝市で提供する地産の野菜は、現在大阪市中央区にあるおとしより健康センター前で連日開催されており、本事業の供給元の1つでもある。 また、塾に関しては、100塾ネットが地域で容易に塾が開催できる教育システムを、試験的にフォーラム塾として現在、稼動中である。	
事業の主たる目的以外の地域における貢献性	本事業のシニア支援隊・朝市・塾も三位一体の活動によって、地域のコミュニケーション力のUP。ひいては、新たな協働のまちづくりの醸成に繋がる。	

ウ・事業実施日程(資金や活動場所の確保などの準備状況と、事業化に向けたスケジュールを記入してください。)

年月	実施活動内容	実施場所
平成21年7月	地域課題、買い物難民・金銭的教育格差の検証会議	天王寺F E I内
平成21年8月	「シニア支援隊」工程会議	天王寺F E I内
平成21年9月	事務局の立ち上げ	中央区(予定)
平成21年9月 ～ 平成21年12月	課題地域の調査・選定 及び、その地域内でのシニア支援隊員の確保	近鉄沿線・JR沿線 京阪沿線・南海沿線 その他沿線
平成22年1月 ～ 平成22年3月	選定地域での場所の交渉及びシニア支援隊員の育成	近鉄沿線・JR沿線 京阪沿線・南海沿線 その他沿線
平成22年3月	検証場所の社会的実験 1地域1箇所	近鉄沿線(推定)

エ・来年度以降の事業発展イメージ(採算性の確保や事業の拡大など今後の事業の発展に向けた考えを記入してください。)

<p>来年度初旬に、1箇所目と異なる環境での社会的実験の検証現場を実施する。 これを基に、上半期では、ふれあい朝市(仮称)及び100塾(仮称)2箇所の社会的実験における採算性の確保や、実施上での課題を検証及び修正する。 下半期に、各沿線で1箇所の拠点を展開し、徐々にではあるが拠点を増やして行く事業イメージである。</p>

オ・主な協力団体・協力者(事業実施上の協力団体や協力者の状況について記入してください。)

団体名、氏名、所属組織	事業実施上の役割	申請時点での協力状況
(有) アプリス	地産野菜及び食料品の供給	供給のとりつけ
サンファーム(株)	地産野菜及び食料品の供給	供給のとりつけ
(有) エフイーアイ	教育システムの支援	支援のとりつけ
(株) イーステーション	教育ソフトの支援	支援のとりつけ

4・組織構成と体制の現状

役員、従業員、会員数	役員 8名、 従業員 0名、 会員 129名
事業実施にあたっての組織体制の現状、もしくは組織化計画（予定されている事業実施のための担当者の役割分担、組織図があれば添付してください。）	<p>当法人の体制は、地域の情報発信としての自治会ニュース等発行や、ITによる環境問題の啓発などを主とする、情報化社会の推進活動部門、「みまもりロボくん」や、「シニア支援隊」など地域活動を中心としたまちづくりの推進活動部門の2分化した体制になっている。</p> <p>本事業は、その中での「シニア支援隊」で新たな地域課題の解消や、是正を行うための活動事業になる。</p> <p>そのため、「シニア支援隊」単独の事務局を組織化し、システムを構築する。</p>
本支援事業の助成金以外での予定される収入の概要と具体的内容	<p>本事業での、朝市や塾に関する収入は、本年度における収入は、ほとんど見込まれず、現当法人での賛同による寄付金及び協力元からの寄付金が、主な収入になる。</p>
本支援事業の助成が終了した後に事業継続を可能にする収入の概要と現時点で構想する内容	<p>社会実験検証後、来年度下半期から実施予定の「朝市及び塾」の収支見込は、1拠点の収入が月間約60万円、材料費や人件費を含めた総支出が8割と換算し、1割の5万円が事務局の運営と試算している。</p> <p>この事から、このシニア支援隊サービスボランティア活動の拠点が、5つの地区を損益分岐点と考え、事務局を含め採算性がとれ事業継続を可能にする。</p>

5. 収支計画(応募事業の実施にかかる収支計画について記入してください。)

<支援対象期間(平成21年7月～22年3月)の資金計画>

■支援対象期間の必要金額

単位:千円

項目	具体的な内容	金額
①人件費	調査費 50 千円×8 ヶ月、拠点 150 千円×1 ヶ月	550
②通信運搬費		
③燃料、光熱水費	拠点 30 千円×1 ヶ月	30
④賃貸料	拠点 50 千円×1 ヶ月	50
⑤旅費交通費	調査・検証費 20 千円×8 ヶ月	160
⑥印刷製本費	販促用チラシ 100 千円、育成マニュアル 50 千円	150
⑦消耗品費		
⑧備品費	拠点用 100 千円	100
⑨修繕費		
⑩会議費		
⑪保険料		
⑫諸謝金	コンサル料 100 千円	100
⑬負担金		
⑭雑費		
①～⑭小計		A 1,140
⑮その他	予備費 60 千円	60
必要額合計	(B=C)	B 1,200

- *①～⑭は、募集要項「7. 対象経費について」に記載している内容に基づいて記入してください。
 *⑮は、これ以外で、必要となるものがあれば記入してください。

■支援対象期間の所要資金の調達方法

単位:千円

項目	具体的な内容	金額
寄付金	当法人会員 10 千円×40 人、協力元 50 千円×3	550
自己資金		
会費	現シニア支援隊会員 5 千円×30 人	150
本事業による期間中の事業収入 *1		
借入金(個人又は団体)		
借入金(金融機関)		
ファンド額 *2		500
その他の補助金・助成金		
調達額合計 *3	(B=C)	C 1,200

*1: 応募事業の実施によって生じる対象期間中の事業収入見込みを記入してください。

*2: 上の表の「A」以内で、かつ、スタート助成は50万円、ステップアップ助成は30万円が限度となります。

*3: 本表の合計額「C」と、上表の合計額「B」の金額は同一額となります。

<平成22年4月以降(支援期間終了後)1年間の事業収支の計画>

単位:千円

科目	具体的な内容	金額	
収入	事業収入	300 千円×6 ヶ月×2、600 千円×6 ヶ月×5	21,600
	寄付金		
	会費	5 千円×50 人	250
	補助金・助成金		
	その他		
	収入合計		A 21,850
支出	人件費	90 千円×6 ヶ月×2、180 千円×6 ヶ月×5	7,200
	その他経費 *	賃貸料 100 千円×6 ヶ月、250 千円×6 ヶ月	2,100
		燃料、光熱水費 60 千円×6 ヶ月、150 千円×6 ヶ月	1,260
		材料費 120 千円×6 ヶ月×2、240 千円×6 ヶ月×5	8,640
	その他	事務局費 60 千円×6 ヶ月、300 千円×6 ヶ月	2,160
支出合計		B 21,360	
差引収支	A-B	490	

*「その他経費」は、前頁の「必要金額」の項目部分に準じてご記入ください。

6. 連絡先

(ここに記入いただいた情報は、事務局が選考用のみに使用します。他に情報を公開することはありません。)

ア. 事業主体の連絡先(事業を実施する主体の連絡先について記入してください。)

所在地	〒577-0818 東大阪市小若江1-11-5		
連絡先 (上記と異なる場合)	〒		
連絡担当者	氏名 山本 春雄	TEL 090-9053-0738	デジタルFAX 03-6893-7236 e-mail info@aun.ac

イ. 協力者の連絡先(事前電話ヒアリングが可能な協力者・協力団体があれば、名前と連絡先などについて記入してください。2名まで。)

【協力関係者・団体①】

氏名	植村 奈緒		所属団体名	サンファーム 株式会社
連絡先	TEL	06-6213-7560	期待する役割	地産野菜の提供
	FAX	06-6213-7561		
	e-mail	info@3-farm.com		
連絡可能時間	平日 昼・夜 / 土曜 / 日曜 / その他 ()			

【協力関係者・団体②】

氏名	栢原 義則		所属団体名	有限会社 エフイーアイ
連絡先	TEL	06-6764-4599	期待する役割	教育システムの提供
	FAX	06-6764-4630		
	e-mail	fei@e-station.biz		
連絡可能時間	平日 昼・夜 / 土曜 / 日曜 / その他 ()			